

アベルリ画 『ロシアの民族服』

Aberli, Johann Ludwig. Les costumes des peuples de la Russie. Berne, 1791. 1v. 29 plates
(copper. mono.) 25.5×21cm 383.138-A (文献番号5-3)

標題紙を含め29枚のビュラン版からなる服装画集で、スイスの画家で版画家のヨハン・ルドヴィヒ・アベルリ (Johann Ludwig Aberli 1723-1786) の作である。『ロシアの民族服』と題した標記の書名の他に “Abbildungen aller russischen Nationen” (あらゆるロシア国民の服装) と独語で併記され、図版のキャプションも仏語と独語で記されている。

アベルリは風景画を得意とし、生き生きした描写はスイス国内で第一級の名声を得ていた。本書に描かれた多様なロシア国民の服装は、彼らが生活している地域の気候風土に調和し、素材も自然環境に適したものが用いられている。その民族を地域的にまとめてみると次のようになる。①シベリアを中心とする北極海沿岸の狩猟民族：ツングース(エヴェンキ族)、サモイェド、オスティアク人。②ヴォルガ、ウラル、西シベリアの農耕民族：モルドヴァ、タタール、ヴォティアク人。③コーカサス地方の農耕、牧畜民族：アルメニア人。④ウズベク、カザク、ウイグル地方の遊牧民：キルギス人。⑤中央アジアの蒙古、モンゴル系の遊牧民：カルムク人、ブラッキー、ツェレミス族。

はがき大の図版には、アルファベットの順位が付され、巻頭の2頁に簡単なキャプションが記されている。注記によるとアベルリの図版には、無彩色とカラーがあるとあるが、本書の図版には着色されたものはない。自然の風景の中に描かれた各地の民族衣装は、衣服だけではなく、かぶりもの、服飾付属品、はきものにもそれぞれの地域性が表れている。

服飾関係の主要文献目録には収録されていないが、18世紀末にスイスで出版された本書は、異邦人の眼でとらえたロシア各地の民族服図集として興味深く、珍書の一つといえる。



本書扉